

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
(TEL) 6765-8904  
(FAX) 6765-8905

## 5.3おおさか総がかり集会に2万人

安倍内閣がねらう9条改憲を阻止しようと憲法記念日の5月3日、全国各地で集会やパレードなどが多彩にとりくまれました。大阪では、好天に恵まれた扇町公園で「安倍9条改憲発議STOP! 輝け憲法! 平和といのちと人権を! 5・3 おおさか総がかり集会」が開催され、2万人が参加しました。大障教からは11分会19人が参加しました。

### 3000万人署名を大きく成功させよう

主催者あいさつをおこなった丹羽徹さん(大阪憲法会議・共同センター幹事長)は、「5月3日は、72年前日本国憲法が施行された日を祝う日。法律には、日本国憲法施行を記念し、国の成長を期するとされている。国の成長とは、経



プラカードを掲げる参加者

済的な成長だけでなく平和や民主主義、人権の発展が含まれている。72年を通して民主主義は誰もが知っているものとなっているが、日本国憲法・民主主義に敵意を持っている人も少なくない」として、その代表格に安倍政権がある」と指摘。「安倍政権のすすめていることは、どれも日本国憲法の方向と反対を向いている。憲法審査会がこの間開かれていないのは、ここにいるみなさんの力が大きい。改元



元気よくパレードに参加しました

集会には、立憲民主党・日本共産党・社民党の3野党代表も参加しました。野党の代表は、「安倍政権の9条改憲の執念と野望を甘くみてはいけな

### 平和な未来のため憲法を守り生かそう

ゲストスピーチとして舞台に立った、神戸大学名誉教授の二宮厚美さんは、「安倍政権の大失政の6年」として、安倍首相が狙う改憲をめぐる情勢やアベノミクスと外交の破たんなどについて指摘しました。参院選の1人区で野党共闘が成功すれば国会で3分の2以上を狙う改憲派の野望は打ち砕けると強調し、「日本も大阪も新たな始まりの集会にしていこう」と訴えました。

各分野からは、安次富浩さん(沖縄・ヘリ基地反対協議会)、石田法子さん(元大阪弁護士会会長)ら4氏がスピーチしました。安次富さんは、A.L.L沖縄のイメージカラーのブルーを身に纏い、沖縄から大阪まで激励に駆けつけてくれました。沖縄の民意を示して安倍政権にNOを突きつけた沖縄県知事選挙・衆議院補欠選挙のたたかいについてふれ、「戦後の平和は、まさに国民が主権となって立ち上がってきたことを忘れてはいけません。今日集まったみんなの力を合わせ、野党共闘で安倍政権を退陣に追い込み、世直しをしましょう!」と訴えました。集会のフィナーレは、コールに合わせ参加者一斉に「野党は共闘!」「9条反対!」のプラカードを掲げました。集会後は3コースに分かれて繁華街をパレードし、「安倍内閣は退陣せよ!」「憲法9条を守ろう!」「憲法生かして未来を築こう!」など、道行く人に訴えま

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



高校生の頃に読んだ山本周五郎の『つづみ』を再読し、当時には気づけなかった読後感がえられたことを契機に、まだ未読であった作者のその他の作品を読み始めた。

「山本周五郎はだいたい史実にかかわらず作家である」と、多田道太郎が評するように、この作者が、奥州の小藩を舞台に幕末動乱期を描いた『天地静大』という小説は、これまで読んできたものとは、一味違う印象の作品であった。

小説は、杉浦透という若侍の「視線」で、武家社会を支えてきた幕藩体制が崩壊しようという時代背景や政治的な様相が多く描かれる。その渦中で、好むと好まざるにかかわらず、権力や暴力の嵐の前でおしながされ犠牲となる「個人」を、「小事」と切り捨てようとする考え方に対して釘をさす。

「藩にしろ国にしろ、ぜんたいは一人の人間から成り立っている、理不尽に一人の人間が殺されるのを、小事だと云って眼をつむるほどの大事があるものではない、どんな意味にもせよ、人間の命が軽視されるようでは世の中はおしまいだ。」

ささやかなもの、小さな生活の事柄の一つ一つを大切に、「人間」の日常的な営みを巧みに描き続けた作者らしい言葉だと感じた。

翻って、沖縄の基地負担の軽減を語りながら民意を無視し、辺野古への移設の強行しようとする状況を、「大事」と眼をつむる訳にはいかない。日本国憲法13条は、「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、……、最大の尊重を必要とする」と定めている。「公共の福祉」をも盾にし全体の利益を理由に、個人の権利や利益を阻害しようとする動きの広がりを目を光らせたものである。

# 新しい仲間を迎え、

# 各分会での趣向を凝らした新歓のやりぐみ (その2)

## 100食分のカレーで歓迎昼食会

### 藤井寺支援学校分会

藤井寺支援学校では、毎年度初めに100食分のカレーを作り、新転任の歓迎昼食会を行ってきました。今年も組合員が中心となって前日の仕事終了してから100食分のカレーを仕込み、4月2日に実施しました。今年も大盛況で、昼食時にはご飯がなくなり、食

(藤井寺支援学校分会 田中伸一)

## パワーいただきました

### 泉北高等支援学校分会

泉北高等支援学校では、4月4日に大障教の分会主催で2019年度新転任者歓迎昼食会を開催しました。昨年度に比べ24人の生徒増で、全校生徒が過去最高の168人となり、新転任者も増えました。そんな中、昼食会は32人の参加で賑わいました。

また、若者とベテランが力を合わせて仕事をしていく時の懐かしい香りがします」と、本校の印象を語られました。

泉北高等支援学校も、ここ数年で20〜30代の青年教職員が増加し、学校全体に新鮮な空気が流れています。今年も多様な教職員

が加わり、パワーあふれる職場になりそうです。

(泉北高等支援学校分会 森本茂)

は「ここは、私が教員になっ

## 恒例！うちの学校のよいところ

### 東大阪支援学校分会

東大阪支援学校分会では、4月1日に毎年「新転任歓迎昼食会」を開催しています。今年もお休みされた方を除いて新転任の方、全員参加していただきました。分会の方も半数以上参加し、お弁当を食べながら、和やかな雰囲気

で昼食会をすることができました。前半は新転任の方から自己紹介をしていただき、後半は分会員が順に自己紹介と毎年恒例「東大阪支援学校のよいところ」をそれぞれ話してくださいました。東大阪支援の雰囲気

が少しも伝わって、新転任の方にも早く学校に慣れていただけたらとみなさん思い思いに話してくださいました。忙しい中ですが、分会員のみなさんも多数参加していただけて、分会の雰囲気も伝えることができました。

新年度、新転任の方と良いスタートをきる取り組みとして、今後も続けていきたいです。

(東大阪支援学校分会 荒谷美里)

## 満開の桜の下で歓迎お花見会

### 堺支援学校分会

天気にも恵まれ、今年は満開の桜の木の下で新転任歓迎お花見を開くことができました。20名弱の教職員とかわいいワンちゃん

の参加がありました。参加者みんなで自己紹介や質問コーナーをして学部を越えての交流をしました。当日に誕生日の人もいて、誕生

日の歌とケーキのプレゼントもありました。

(堺支援学校分会 小島良平)

## Hand in Hand

### 「おかえり」から始まる寄宿舎

### 寄宿舎ってどんなところ？

第1回

大阪府立障害児学校教職員組合(府障教)と大阪市立障害児学校教職員組合(市障教)が組織再編して早3年目がスタートしました。大阪府立支援学校で寄宿舎を設置しているのは、旧府立は現在の大阪南視覚支援学校、旧市立は中央聴覚支援学校と大阪北視覚支援学校の3校です。組合の寄宿舎教員部としては、組織再編される以前から「大障教寄宿舎部」として長年協力して運動を進めてきました。

昨年度末から今年度初めにとりくまれた「寄宿舎設置校の安全安心な学校給食・舎食を求める緊急要請署名」は、年度がまたがった春季休業中の短期間にも関わらず、団体署名は大障教42分会すべてから署名が寄せられ、当該3校でも170筆にも及ぶ署名が集まりました。みなさんのご協力に感謝しております。

全国的に寄宿舎の統廃合が進められる中、大切な教育の場である寄宿舎をもっとご理解をいただくためにも、大障教ニュースの中でシリーズ化させていただくことになりました。寄宿舎をもっと知っていただけるように、手から手へという気持ちを込めて～Hand in Hand～をモットーに、学校から「おかえり」と迎え、元気に学校へ「いってらっしゃい」と送る寄宿舎の紹介をみなさまにお届けしたいと思います。

どうぞ、よろしく願いいたします。

